

【谷本博】日立建機ロジテック(山内勇二社長、茨城県土浦市)は二年後をメドに、常陸那珂港(ひたちなか市)の後背地に輸出入拠点となるクロスドックセンターを建設、稼働させる。親会社の日立建機の中国を中心としたアジアでの建機需要が旺盛なことから、製品輸出量が拡大を続けており、主力の土浦工場に近い同港を活用することで環境対策やコスト削減につなげる。

日立建機は同港に近い出比率を現行の四割(京浜港が六割)から、六割に引き上げる。さらに、早ければ来年末にも同港の後背地に新工場の開設を予定している。さらに、早ければ来年末にも同港の後背地に新工場の建設を進め、一月中旬に完成の見通し。かねてから日立建機ロジは同港活性化のし日立建機ロジも物流のため官民合同によるポートセールスを展開、行政ローカンに掲げる日立建

機ロジにとって、同港の機ロジに比べて、同港の機ロジは活性化とともに横持ち費用の削減などコスト削減にも大きく貢献する。さらに、改正省エネ法対応にもならみ、二酸化炭素(CO₂)削減効果など環境にやさしい物流の促進につながる。

「運ばない物流」をス

亀井優取締役企画部長は「グループの拡大に伴う売上高アップだけで計画したもので、外販の取り込み次第では、さらに往復しかできないが、二回転が可能になる。トラックの総量削減につながる」と予想。

また、同港での物流センター開設について「京浜

中国むけ通販スタート

グローバルスタンダード

2月、上海に事務所

【大沢瑛美子】グローバルスタンダード(樋口純二社長、福岡市博多区)は来年二月から、中国国内向け通販事業をス

海市で立ち上げる。事務所を開設し、来年中をメドに物流センターを整備。日本国内の通販ロジスティクスで蓄積したノウハウを生かし、中国向け消費者物流に参入する。

さらに、日本国内向けサービスでは、物流システムサポートとして新たにLLSを開発。現在、人材派遣会社からランダムに送り込まれている国内向けサービスの地



樋口社長

ターゲット。国内物流センター向けには、新労働管理システム(LLS)を開発、一層の事業拡大を目指す。

中国向け通販事業は上

【水野正博】日野自動車を四日、神戸市中央区のポートアイランド(P-1)に神戸中古車センターが鉄骨造り二階建てで、延べ床面積千九百九十平方メートル、メカニカル研修室や完成検査場、エンジン分解場などを整え、顧客の利便性向上をた。実務研修を通じ国内販売のエンジニアのスキルアップにつなげる。

【戸島晶子】ヤマトオートワークス(YAW、



イトーキが開発したリリーマ SASSは、立体高速ピッキング仕 独自の水平・垂直の二分け機「システムスト 次元搬送で超高速稼働

神戸に中古車センター

日野自 西日本の在庫集約

【水野正博】日野自動車を四日、神戸市中央区のポートアイランド(P-1)に神戸中古車センターが鉄骨造り二階建てで、延べ床面積千九百九十平方メートル、メカニカル研修室や完成検査場、エンジン分解場などを整え、顧客の利便性向上をた。実務研修を通じ国内販売のエンジニアのスキルアップにつなげる。

【戸島晶子】ヤマトオートワークス(YAW、